



体育祭

学年や学科の壁を越えて“結束”を深めた体育祭

2024年度体育祭実行委員会 委員長

都市生活学部 都市生活学科 3年 崎田 健太郎

今年度の体育祭は5月8日(水)、5月9日(木)の2日間での開催となりました。世田谷キャンパスでは前日の雨の影響や当日も悪天候が予想されていたため、屋外種目は開催できず、すべての種目を開催することができませんでしたが、去年に引き続き、今年も体育祭を開催できたことを大変嬉しく思います。

今年の体育祭テーマは“結束”です。1日目は1年生のみの学科対抗戦、2日目は全学年を対象とした団体戦を行い、スポーツを通じて結束を深めてもらうことを目的とし開催しました。

今年は去年より多くの学生たちに参加してもらうために、広報により力をいれました。早めの準備・告知を心掛け、ポスターやチラシだけではなく学科ガイダンスや体育授業での告知を行ってもらい、先生方にも協力していただくことで多くの学生たちに参加してもらうことができました。また、事前に対戦表やタイムスケジュールを作成し、運営側と学生側に共有することで当日の運営がスムーズに進められるように準備を行いました。

1日目の学科対抗では、当日の参加人数の不足によって対抗戦を

行えない競技も出てきましたが、急遽対抗戦をなくして学科関係なくチームを組んでもらうことで競技を行うことができました。当日に起きた問題にもかかわらず、運営スタッフや参加者の皆さまが協力してくださったおかげで無事に競技を終えることができました。

2日目の団体戦では、学年・学科の制限なくチームを組むことができたので、サークルや研究室での参加が多く見受けられました。そのため、スポーツを通して学科関係なく仲間との結束を深められる場を作ることができていたと感じました。

また、教職員の方々も参加していただき、運営側も競技に参加することができたので、全員が楽しむことができたと思います。大きな怪我もなく、今年の体育祭のテーマである“結束”を参加者全員がスポーツを通して深めることができ、体育祭は大成功だったと思います。最後になりますが、体育祭にご協力いただいた皆様には厚く御礼申し上げます。

来年度の体育祭も多くの参加者によって活気ある体育祭になることを心より願っております。

事務局だより

本年度4月より学生部長を拝命し、併せて後援会事務局長を務めさせていただいております。昨年度はデザイン・データ科学部が新設され、現在では学部(10学部28学科)・大学院(3研究科・12専攻)に8,220名の学生が在籍しています。

後援会会員の皆様には、大学行事へのご理解とご支援に心より感謝申し上げます。後援会の活動は、入学時にご支援いただきました後援会費を原資としています。本年度も、本会誌の発行をはじめ、課外活動支援、就職活動支援、学生表彰、保証人対象大学との連絡会、朝活応援企画である100円朝食の補助など、多岐にわたる学生支援を実施しています。

昨年度、新型コロナウイルス感染症は、5類感染症に移行しました。授業は原則として対面形式となり、キャンパスに学生が戻り、賑やかになってきました。また、横浜祭や世田谷祭も完全対面で開催され、様々な企画とともに大学祭の本来の活気が戻ってきました。日々の行事支援に感謝しつつ、より有意義な大学生生活を提供するために、皆様からのご意見やご提案を心からお待ちしております。引き続き、皆様のご協力とご支援を宜しくお願い申し上げます。

学生部長(後援会事務局長) 共通教育部 人文・社会科学系
体育教育部 教授
久保 哲也

